

# 学校教育部長目標

学校教育部長 中田 利明(なかた としあき)



当部の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



ゼロカーボンシティ実現に向けた当部の方針

2050年のゼロカーボンシティ実現に向け、学校における環境教育を推進します。令和5年度は、「地球にやさしい学校づくり推進事業」を中心に、環境や資源保護等に取り組みます。

## 学校教育部の仕事

学校教育部は、学校教育課、保健給食課、教育センターの3課で構成されています。学校教育課では、市立の小・中学校及び幼稚園の教育内容の指導、県費負担教職員・市費負担の支援員等の人事事務、就学事務などを担当し、保健給食課では、2つの学校給食センターへの指導をはじめ、学校保健、学校給食、食育などを担当しています。また、教育センターでは、学校教育に係る調査研究、教職員の研修、教育相談などを担当しています。

## 学校教育部の令和5年度の目標

学校教育部の今年度の重点的な目標は、コミュニティ・スクール導入事業、「学び創造アクティブ PLUS」学力向上推進事業、「トコロん のびのび塾」算数基礎学力向上プロジェクト事業、学校給食センター再整備事業などを行ってまいります。  
また、感染症法上の位置づけの変更に伴い、子どもたちの笑顔があふれる学校となるよう、学校・教育委員会一丸となって取り組みます。

目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	コミュニティ・スクール導入事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともに歩む学校づくりを今後更に推進するため、令和5年度からコミュニティ・スクールを段階的に導入します。</li> <li>・令和5年度はモデルとして、4校で3つのコミュニティ・スクールを試行的に実施します。</li> <li>・学校・家庭・地域が学校教育目標のビジョンを共有し、社会総がかりで子どもたちを育むことを目指していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・地域住民等との信頼関係を深め、安全・安心な学校と地域づくりの推進を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となってよりよい教育の実現を目指すことを目標とします。</li> <li>・令和6年度はモデル校数を拡大し、中学校区ごとに1校とし、令和7年度には市内全校での実施を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4校で3つ(松井小、椿峰小と北野小・北野中)のコミュニティ・スクールを導入しました。</li> <li>・コミュニティ・スクール実施校や市内の教員に向けた研修会を年間3回実施しました。</li> <li>・コミュニティ・スクール導入に向けて、地域向け説明会を市内6会場で実施するとともに、地域の会合に参加し、学校・地域・保護者向けの説明会を実施しました。</li> </ul>
2	「学び創造アクティブPLUS」学力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校アクティブ研究は、小・中連携を意識し、各中学校区でローテーションを組み、3年間で全小・中学校が研究委託校として、学力向上を目指した研究を進めていきます。</li> <li>・学校クリエイト研究は、所沢市の教育をリードする先進的な研究を行い、研究の成果を各校に啓発し、市全体の授業力の向上を目指していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は「学び創造アクティブ PLUS」の理念となる「能動的学習者観に立った子ども観」を大切にされた授業づくりをさらに推進するとともに、各校において「未来を切り拓く力」を具現化した取組が図られるよう支援してまいります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員対象の意識調査から「言語活動」「学び合い」「ICTの活用」については、授業改善を着実に進められたことが分かりました。</li> <li>・家庭での「メディアとの付き合い方」「家読(うちどく)」「家庭での役割」について取り組み、市内5,771人の児童から回答を得ました。自分の目標に意欲的に取り組み、よりよい生活習慣や学習習慣のきっかけづくりとなりました。</li> </ul>
3	「トコロん のびのび塾」算数基礎学力向上プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校3年生から6年生児童を対象に、「数と計算」領域を中心に算数の学力向上を図ります。</li> <li>・「数と計算」領域を中心とした2種のコース「九九マスターコース」「計算力アップコース」を設定し、個別のつまずきに合わせた学習を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々や中学生等にボランティアをお願いし、個別の学習支援を充実させ、「できた」「わかった」という達成感が味わえるようにします。</li> <li>・地域の教育力を活かした、会話ができる活動運営とし、励ましや称賛等の声かけで学ぶ意欲を高めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中に教育センターで4日間実施しました。</li> <li>・4日間で延べ350人以上の児童が参加するとともに、延べ150人以上のボランティアに参加していただきました。</li> <li>・「できた」「わかった」という達成感が味わえたという感想が多くありました。</li> </ul>

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
4	学校給食センター再整備事業	・安全安心な学校給食を安定的に提供するために、老朽化した学校給食センターの再整備を進めます。	・令和6年4月の運営開始を目指し、学校給食センターの再整備を計画的に進めます。	計画どおり、令和6年1月末に建物の引き渡しを受け、2月中旬には、内覧会や見学会を行いました。また、3月28日には開所式を行い、4月からの運営開始に備えました。